

成岩小学校区 ふくし井戸端会議（第3回）ダイジェスト



発行元：半田市 平成30年3月発行



日時：平成31年3月15日（金）
13時00分～14時40分

場所：成岩公民館 第3会議室

内容：①今までの振り返りについて
②発達障がいについて
③意見交換

参加人数：26名

① 今までの振り返りについて

今年度の成岩小学校区では、子どもや高齢者をさりげなく地域で見守り、助け合える街づくりを目指しています。今回は、半田同胞園の職員から、「気になる子どもたち」の話や、意見交換の中で、障がい（見た目では分かりづらい障がい）について、学びたいとの意見がありました。

そこで、今回は、半田市障がい者相談支援センターや事業所（NPO法人りんりん りんごびあ）の職員から、障がいの概要や子どもたちの現状などを聴き、発達障がいについて学びました。

② 発達障がいについて

発達障がいとは、生まれつき、脳の働き方が他の人と異なる部分があり、得意と苦手な事の差が非常に大きく、社会生活に困難が発生する障がい（以下の3種類に分類される。）である。

現在の子どものを取り巻く環境は、情報技術の急速な発展、コミュニケーション方法（SNS・LINEなど）の拡大、ハラスメント・いじめ・虐待の増加や、他者の意見を聞き入れず自己主張が強い人の増加など、社会環境が大きく激変している。

その環境に対応できず、心の病を発症する大人が急増しているとともに、日常生活を過ごしている多くの子どもたちが生きづらさを感じ、障がいを発症する傾向にある。

※文部科学省の統計では、知的発達に遅れはなく、学習や行動で著しい困難を示す通常学級の児童や生徒の割合は、6.5%である。（40人学級では、約3人となる。）

自閉症スペクトラム・アスペルガー症候群

◇他者との交流がスムーズにいかない状態など社会性（対人関係）に欠ける。

◇会話を続けることが困難などコミュニケーション能力に欠ける。

学習障がい

◇読み、書きなど特定の学習分野が極端に苦手である。

注意欠如多動性障がい

◇忘れ物が多い。
◇人の話を集中して、聞けない。
◇落ち着きがない。

③ 意見交換

- 子どもに対しては、「叱る」より「褒める」、簡潔な言葉で話すなど接し方に注意する。
- できないことを標準に近づけるのではなく、得意なことを伸ばすよう心掛ける。
- 見守る大人が個々の特徴を十分理解し、子どもが暮しやすい地域づくりが重要である。

『ふくし井戸端会議』

に、ご参加ください。

みなさん、お待ちしております！

<お問い合わせ先>

半田市地域福祉課

☎0569-84-0641

半田市社会福祉協議会

☎0569-23-7361